



敬愛



Fuchu Third Junior High School

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

校長 持田 晃

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

## 「心調」はいかがですか？

校長 持田 晃

例年になく梅雨明けが遅くなり、気温の高い日が続いています。「体調」はいかがですか？となるころですが、今年はいつものような学校生活ではなく、多くの制約がある中での生活が続き、十分にエネルギーを発散することができずに、ややストレスが蓄積してしまっているかもしれません。

皆さんの「心調（こころのちょうし）はいかがですか。（造語です）

学校は、人とのかかわりの中で心の成長を育てていきますが、これまでの互いに話し合ったり、語り合ったり、ふざけ合ったりということの制約があり、人との距離を確保するなど、ほんとに学校として逆のことを言っているようで、心苦しさを感ずります。生徒の皆さんにも、だいぶ我慢を強いているようで、申し訳なく感じています。

それでも、ここ最近の報道では、好転の兆しを感じられず、むしろ以前よりも拡大してしまっている感があります。ということは、医療従事者の方々は、ずっとその苦勞が続いているとも思いますし、生活を支えてくれている人々も同じ状況だと思えます。先が見とおせないことへの不安は誰しもあります。ある時、ニュースを見ていると、新型コロナウイルスに感染してしまった芸能人が、回復をした際の記者会見で、謝罪する姿を見ました。非常に違和感を覚えました。確かに、そのことで仕事や関係者に影響は出たかもしれませんが、見えない敵であるウイルスの対策を行っていても、感染してしまうことがあるからです。報道では、児童・生徒や教員の感染も報告され、我々も十分に注意して対策を行っていますが、「いつ、どうなるか、わからない」というのは、誰にでも当てはまることだと思います。そして、何より考えなければならないのが、感染してしまった方が増加しているということは、そのご家族も多くの苦勞をされているということです。

「困っている人がいたら、助ける」しごく当たり前のことかもしれませんが、それができなくても、温かく見守れる心でありたいと思います。誹謗（ひぼう）、中傷（ちゅうしょう）、差別（さべつ）、偏見（へんけん）は、あつてはならないと考えます。「心調（こころのちょうし）」を保ってほしいものです。

中面に東京都教育委員会が作成した「新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消を図る指導資料（生徒用教材）」を掲載しました。ご家族でご覧ください。

今年は、ちょっと短いけど、それでも **夏休み** です。



今年の夏休みは、8月8日（土）から23日（日）までの16日間となります。通常であれば、「やりたいことをおもいっきりやり、計画的に学習や遊びを充実させてください」と言いたいところですが、出かけることもままならないかも知れませんね。くれぐれも、交通や水の事故に注意してください。

そして、規則正しい生活を心がけ、貴重な時間を無駄にしないでほしいと思います。全校では集まりませんが、8月24日（月）の2学期始業式（放送になります）で、元気な姿を見せてください。

## 止めよう差別の感染 広めよう感謝の心

見えないウイルスへの不安から生じる偏見や差別を受け、  
悲しみ、苦しんでいる人たちがいます。



コロナウイルスに感染し、体調が悪化。  
苦しい状況で治療を受けています。

コロナウイルスと闘う患者さんを、  
昼夜を問わず  
支えていらっしゃる方々があります。



本当に多くの方に支えられ、  
病気は治りました。  
家族にも笑顔があふれます。

それなのに、元気になった彼に、  
「コロナがうつるから、近寄るな」と  
心無い言葉をかける人がいます。  
どうしてこんなことに…。



とても残念なことに、感染者やその家族、医療  
関係者等への不当な偏見や差別、いじめ、SNS  
等での心無い書き込みが起きています。

なぜ このようなことが起きるのでしょうか。  
私たちは、どうすれば いいのでしょうか。

こうした偏見や差別は、  
決して許されることではありません！

## 「ウイルスと最前線で闘ってくれている」

これは、プロ野球・阪神タイガースの元ヘッドコーチ片岡篤史さんの言葉です。新聞記事によると、片岡さんは、新型コロナウイルスに感染し、17日間に渡って、厳しい入院生活を過ごしたそうです。退院後に語ったのは、自らの入院生活を支えてくれた医療従事者への感謝の思いです。



「医療従事者の皆さんはウイルスと最前線で闘ってくれています。自分も本当に助けられました。」(朝日新聞 令和2年5月18日(月)朝刊)



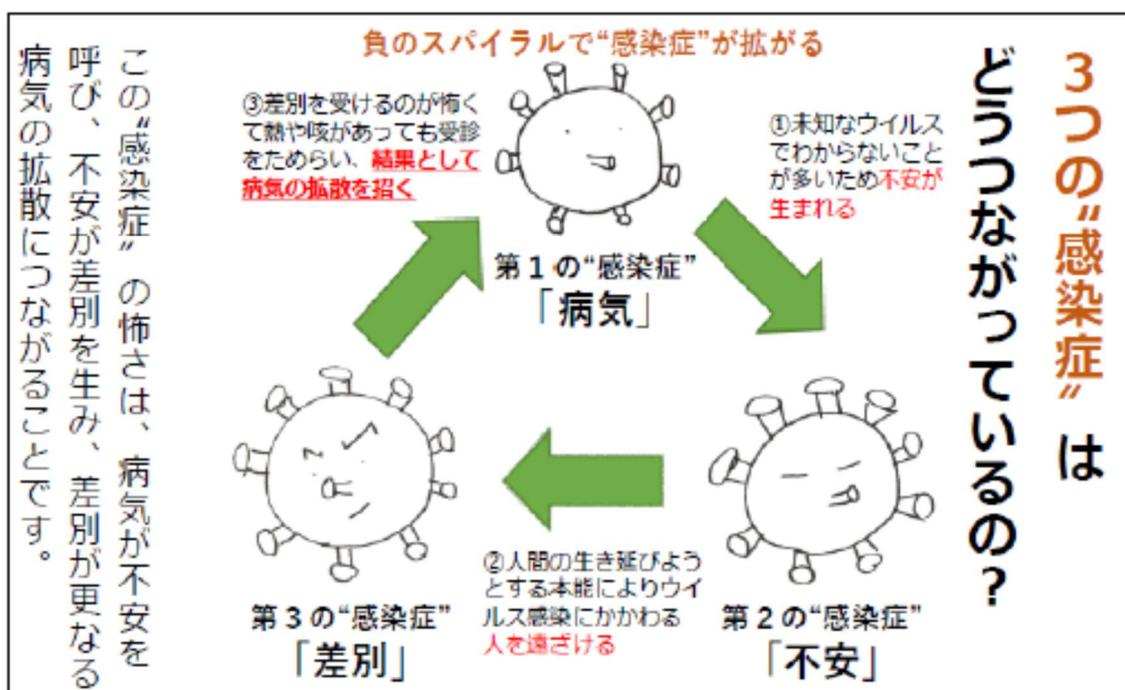
今、この瞬間も、感染者や私たちのために、感染のリスクがあるのにも関わらず働いてくださっている方々があります。それは、医師や看護師、保健所の職員など感染症の対策や治療にあたる方、ごみの回収など社会機能の維持にあたる方などです。

私たちの生活を支えてくださる方々に、感謝の気持ちを届けましょう。



保護者の皆様へ

お子様と一緒に読んでください。



日本赤十字社HP「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より抜粋

発行者：東京都教職員研修センター研修部教育開発課

まだまだ  
募集中!!

# 水やりボランティアの活動



職員室前の学年別連絡黒板の「水やりボランティア」の案内掲示です。下の破れは、切り取って申し込みをした痕跡です。現在21名の登録した生徒がおり、7月22日（水）の第1回水やりでは、地域の方から説明を受けました（写真①）



写真①：説明を受け、第1回スタート

写真②：第2回も小雨模様

写真③：第2回 お花のお手入れ、

第2回は、7月29日（水）で、この日も若干の小雨が降る中、「水やりボランティア」は朝7時30分から集まり、活動をしています。場所は写真でお分かりのとおり、分倍河原の駅から、MINANOを超えた「三中ロード」です。生徒の皆さんが通ることは比較的少ないですが、駅に向かう人たちには、気持ちよく感じてもらえると思います。（写真②、③）

この後の予定は、第3回8月5日（水）、第4回8月26日（水）、第5回9月2日（水）、第6回9月9日（水）です。これ以降の追加日程は、2学期始業式後に改めて掲示します。「水やりボランティア」は、まだまだ募集中です。職員室前のポスター（↓）をご覧ください。

生徒のみなさんへ

令和2年 7月10日

**校内掲示**

**花壇水やりボランティア 参加者募集のお知らせ**

三中の生徒の皆さんは、日頃から授業や家庭学習だけでなく、いろいろな活動にも意欲的に取り組んでいます。昨年度は、矢崎小放課後子ども教室でのボランティアや、夏休みには南町小サマースクールボランティアにも、たくさんの生徒が参加しました。

その“意欲的な活動”を今年度もさらに広げて、地域の中で発揮してもらえたら、と思います。

本町四丁目自治会の方々が、皆さんの通学路にお花を植えて三中の周りを明るく美しくしてくださっています。

そこで今年度も、花壇の水やりのボランティア活動への参加者を募集します。

友達や部活動の仲間などを誘い合って、地域の方と素敵な「三中ロード」を作りましょう!!!

## 学校閉庁日についてのお詫びと訂正

夏季休業日（8月8日～8月23日）

前号でお知らせした学校閉庁日の対応に間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

上記夏季休業期間中の土日及び祝日に加え、8月11日（火）～14日（金）及び8月17日（月）18日（火）は学校閉庁日となります。そのうち、12日（水）～14日（金）と土日及び祝日の緊急時の連絡は、府中市役所に連絡してください。（※緊急時とは、事故等の発生など生徒の身体生命にかかわる緊急の連絡です。）府中市役所 電話 042-364-4111